

平成27年度 低山歩きI

篠井富屋連峰（宇都宮アルプス）

篠井富屋連峰とは、宇都宮市の北に位置し、本山（562m）を中心に、榛名山、男山、飯盛山、高館山、黒戸山、兜山等変化に富んだコースがあり、体力に応じて楽しむことのできる山々である。



1月17日（日）、参加者14名は、3台の車に分乗し、野崎（P）を定刻7時に出発した。大網公民館への車の移動を済ませ、8時5分、こともの森公園（P）から歩き始めた。管理棟前から杉林の中を登ること50分、榛名山と男山の分岐の尾根に着く。そこには、溢れんばかりの陽の光が待っていてくれた。



1座目 榛名山



榛名山山頂には、梵天が奉じられていた。男山山頂付近は岩場である。



2座目 男山



CLを先頭に杉山を行く

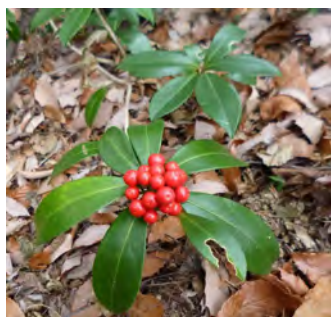


らは和やかな気分が伝わってくる。これらは低山のこの時期、この時間帯ならではの味わいであろう。岩場でC.Lの個人特訓があり、他の者達はまき道からその様子を見守る。飯盛山はその名の通りお椀に高々と飯を盛り上げた姿を思わせる。勾配がきつく、登りも下りも大変である。山頂で11時30分から12時まで昼食とす



本日の最高峰本山 (△562m) 3座目

10時、本山山頂着。正面にドンと座った高原山のここからの眺めは、美しさ以上に力強さを感じられる。那須連山から日光連山にかけての好展望を、C.Lの解説に耳を傾けながら堪能する。飯盛山に向かう。ネジキ、アブラツツジ、リョウブ等の木々を通り過ぎてくる冬の日射しは心にしみるほど優しい。落葉を踏みしめる足元か



4座目 飯盛山



みんなでザイルを綱引きだあ〜



5座目 高館山

る。この頃から今夜は雪という天気予報通り雲がでてくる。慎重に時間をかけて下り、青嵐峠から高館山へ向かう。麓の日光サーキットからであろう爆音が間断なく聞こえてくる。冬枯れの景色には似合わぬ



濃い緑と赤の色彩が目飛び込んでくる。赤い実をつけた櫛であった。よく見るとすでに花芽もついている。行く手をふさぐ



### 6座目 黒戸山

ような大岩が現れる。再び岩場訓練かと思う間もなく、まくように道がありなんなく通過。CLは”ダルマ岩”と命名する。13時20分山頂着。なぜか一円玉がきちんと並べて供えられている野仏が御座す。その光背部に彫られた「太陽、月、雲」の文様が興味深い。13時55分、黒戸山山頂着。山頂は狭いが西側がひらけ、

日光道や田川の流れが見える。早々に写真を撮って、杉林を下る。林道日陰線を出た所で兜山への登山口に迷い、取りあえず鬼山を目指す。頂上付近はあまり人も入らない様子だが、こういう所はCLの本領発揮。実に歩みが速い。



### 7座目 鬼山 (つまりオマケの山)

頂上らしき所の木に名札をつけて、今日の“おまけ”の記念写真を撮る。兜山への登山口は林道沿いに簡単に見つかり、15時20分山頂着。宇都宮アルプス八山制覇の間である。頂上広場には藪椿の花が祝福するかのよう咲いている。振り返れば歩いてきた山々が一望できる。低山とは言え八山それぞれの異なる顔に出会い、満ち足りた気持ちで林道を下る。まさにクールダウン、今日の山行の整理をし呼吸を整える歩みである。途中小さな祠があった。年末に掛け替えられたのであろう手作りの立派なしめ縄に、この地区の人々の暮らしの一端がしのばれる。何はともあれ、全員無事下山に感謝！ 頭を垂れる。16時、2台の車の待つ大網公民館着。こどもの森公園(P)を経て帰路に着く。17時10分、野崎(P)着。お疲れ様でした。(斉藤 記)

てきた山々が一望できる。低山とは言え八山それぞれの異なる顔に出会い、満ち足りた気持ちで林道を下る。まさにクールダウン、今日の山行の整理をし呼吸を整える歩みである。途中小さな祠があった。年末に掛け替えられたのであろう手作りの立派なしめ縄に、この地区の人々の暮らしの一端がしのばれる。何はともあれ、全員無事下山に感謝！ 頭を垂れる。16時、2台の車の待つ大網公民館着。こどもの森公園(P)を経て帰路に着く。17時10分、野崎(P)着。お疲れ様でした。(斉藤 記)

### 鬼山

てきた山々が一望できる。低山とは言え八山それぞれの異なる顔に出会い、満ち足りた気持ちで林道を下る。まさにクールダウン、今日の山行の整理をし呼吸を整える歩みである。途中小さな祠があった。年末に掛け替えられたのであろう手作りの立派なしめ縄に、この地区の人々の暮らしの一端がしのばれる。何はともあれ、全員無事下山に感謝！ 頭を垂れる。16時、2台の車の待つ大網公民館着。こどもの森公園(P)を経て帰路に着く。17時10分、野崎(P)着。お疲れ様でした。(斉藤 記)







最後の山 8座目です 兜山

○とき 平成28年1月17日(日)  
 ○ところ 宇都宮アルプス(篠井富屋連峰)  
 ○てんき はれ  
 ○あし 伊藤車、荒木車、海津車  
 ○おあし 1,000円

○参加者 CL:藤田、SL:大金、報告:斉藤、会計:植竹、撮影:伊藤、記録:海津、荒木、伊藤、市村、薄井、大野、金丸、坂本、頼高

○コースタイム

野崎 7:00=こどもの国公園 7:45(車回送) 8:05-榛名山 9:05/9:10-男山 9:30/35-  
 本山 10:10/15-鉄塔下 11:10-飯盛山 11:30(昼食) 12:10-林道 12:40-青嵐峠 12:45  
 -高館山 13:20/13:30-黒戸山 13:55/14:00-鬼山 14:45-兜山 15:20/30-大網公民  
 館 16:00/16:05=こどもの国公園 16:10/16:20=野崎 17:10

